

2011年
8月15日発行
第58号

北九州地区労連

発行：北九州地区労働組合総連合（〒802-0071 北九州市小倉北区黄金町1-4-9 山本ビル207号 TEL 921-0747 FAX 921-0284
ホームページアドレス http://www.geocities.jp/k_roren/ Eメールアドレス k_roren@ybb.ne.jp

住宅リフォーム助成制度で、北九州市と懇談 市議会決議後も当局の姿勢変わらず 陳情署名など市民運動の盛り上げで実現を！

8月2日（火）11時より、北九州市庁舎82会議室にて福建労等が強く求める「住宅リフォーム助成制度実施」について、北九州市建築都市局住宅計画課（川口課長、小野係長）、産業経済局雇用対策課（梅本課長、池末係長、前田担当）と、地区労連2名、福建労北九州支部5名、門司支部1名、市職労1名、建交労1名、健和会労組1名で懇談を行いました。

6月の北九州市議会にて「住宅リフォーム助成制度実施を求める決議」が賛成多数で可決された情勢を踏まえての懇談となりましたが、市当局は冒頭から2月の対市要請の回答（現在のバリアフリー改修・耐震改修・エコ住宅等に対する助成を引き続き行う）の枠を出ない意見を述べ、住宅リフォーム助成制度実施に向けて具体的な動きはありませんでした。

福建労北九州支部の新屋敷書記長より「住宅リフォーム助成制度は全国330を超え広がり続けている実績のある制度。市民が喜び、不況の地元建設業者の仕事が増え地域経済の活性化につながり、市の税収も増える。県内でも筑後市を始め隣の苅田町が実施し実績がある。なぜやれないのか」と市当局へ追及。市当局は一定の実績は認めるとしたものの、6月市議会の決議後の北橋市長の報道コメントも引用し、限りある財源から優先政策（エコ）を進めると強調しました。

また、北九州地区労連の堀田副議長より、「住宅リフォーム助成制度は幅広く利用できるような申請要件を求めている点についてどう考えるか」との問いに対して、市当局から「ハードルの低い制度にすれば日曜大工をやっている方に頼んでも助成できるようななんでもありとなる恐れもある」と、プロの建設業者と日曜大工を同じ扱いにする発言もあり、なんでもありの制度を求めているのではなく、使い勝手がよくみんなが喜び制度を求めていると強く意見しました。

懇談は12時まで行われ、最後に再度、北九州市での住宅リフォーム助成制度実施を求めると共に、市当局へ制度への学習と今後の意見交換の場を求めました。

新しい情勢後の懇談とあって少し期待をしていましたが、依然として実施への動きは見られず、総括の中でも「住宅リフォーム助成制度を実現する会」が進めている署名運動の強化と、8月10日に苅田町へ視察を行い、学習・宣伝活動を進め、議会と世論の力で実現を目指すことを参加者全体で確認しました。



ニコニコペースの
平和マラソン
門司港駅から
小伊藤山公園へ

7月24日（日）、北九州ランニングセンターや北九州地区労働組合総連合等の主催で、核兵器廃絶、原水禁世界大会の成功を訴えて「**ニコニコペースの平和マラソン**」が開催されました。

この平和マラソンは8月6日に広島を出発して長崎までを3日間で走りつなぐ「広島・長崎反核平和マラソン」だけでなく、北九州市内でも反核平和の世論を盛り上げようとランニング愛好者が立ち上がり実現しました。

この日、朝9時に**門司港駅**へ15人が集まり、中山地区労連議長の挨拶のあと9時半にスタート、午前中のゴールである新勝山公園を目指して走りました。

誰もが参加できるようにと1キロが10分のペースでしたが、ゴールには予定よりも15分早く11時25分に着きました。新勝山公園で20分の休憩後、その小伊藤山公園のゴールをめざして、11時45分に新勝山公園をスタートしました。

8月9日、原子爆弾を落とし小倉上空へ来た米空軍機は、前日の八幡大空襲の煙によって目標が定まらず、急遽長崎に向かい原子爆弾を長崎に投下しました。

八幡大空襲では**小伊藤山公園**にあった防空壕に約300人の住民が避難していて全員犠牲になりました。

午後は1キロ12分のペースで設定しましたが、ゴールには予定より15分早い13時10分に着きました。

八幡駅前から河内温泉行きシャトルバスに乗って、「あじさいの湯」で入浴、八幡駅前の「喰わんか屋」で仕上げをしました。

参加者からは「始めて参加しましたが、沿道の市民からガンバッテと言われて逆に元気をもらいました。」と感動が寄せられ、参加者のほとんどが参加して良かったとの感想でした。

来年はもっと参加者を増やしてやろうと決意して散会しました。

雨あがり

今年も猛暑の中8月6日には（土）広島平和記念式典、9日（火）には長崎平和記念式典が行われました。

広島記念式典の経過について少し調べてみました。

1947年に「広島平和祭」として第一回が開催され、このときはGHQによる占領統治時代であったため、検閲で平和への思いが消されないためにどうするか苦闘したといわれます。

この平和祭では式典のほか盆踊りや仮装行列なども催され、アメリカの雑誌が「アメリカ南部の未開地におけるカーニバル」と形容したほど市民に希望を与えるものであったそうです。

1950年6月から朝鮮戦争が始まり、この年の平和式典は禁止・中止になります。

平和記念公園が開設された1954年以降は現在の形式で行われています。

被爆から60年以上が経過し、被爆体験を持つ人たちの平均年齢が70歳を超えたことで、被爆体験が戦争経験と同様に風化してきていると感じられます。

私たちはこの時代のことを忘れず、今後も平和を願っていききたいと思います。

あの〜くみあいから 19

八幡西民商職組 清水 真

「暮らし・経済・復興を破壊する増税は許さない」

政府・与党は社会保障の切り捨てと一体に、2010年代半ばまでに消費税率を10%にすると言っています。

しかしその中身は、社会保障のためと言いながら「医療費の窓口負担の引き上げ」や「年金支給開始年齢の引き上げ」など見過ごせない大問題を含んでいます。

消費税は、そもそも所得の低い人ほど負担が重く、消費税を価格に上乗せできない零細業者などは身銭を切って支払わなければならない、もっとも不公正な税制度です。

消費税法では、人件費の割合が高い企業ほど、消費税の納税額が高くなる仕組みになっており、正社員を請負や派遣に切りかえれば、その分納税額から差し引かれ、税負担は軽減されます。消費税は、リストラ促進や不安定雇用拡大にも大きく影響しています。

消費税を10%に引き上げると、国民一世帯あたり年16万円もの負担増になります。景気低迷、経営危機のなか、今でさえ生活苦にあえいでいる国民は、奈落の底に突き落とされてしまいます。

八幡西民商労組でも、民商の会員と共に消費税論議を展開し「消費税増税反対」のために署名・宣伝行動など全力をあげます。

原発ゼロを目指す北九州市民集会の取り組み

日時 2011年9月9日(金) 18時30分
場所 勝山公園(小倉北区市役所前)
行動 第1部 集会とアピール決議
第2部 JR小倉駅までデモ行進

北九州市は佐賀県玄海原発から100km、愛媛県伊方原発から約120kmの地点にあります。全国で原発ゼロへの運動が広がり始めています。ひとりひとりの市民が声をあげて行動を起こす時です。私たちは「原発ゼロをめざす」との一点での協力協同を呼び掛けさせていただきます。1000人規模の集会です。多くの皆さんの参加お待ちしております。



北九州市役所前を走るランナーの皆さん



ゴール地点の長崎平和祈念像前で黙祷

北九州地区労連第23回定期大会

日時 2011年9月11日(日) 10時
場所 毎日会館
議題 2010年経過報告
2010年会計決算報告

事務局運営規約一部改正、事務局員の賃金労働条件について(内規)、事務局長の活動経費について(内規)、事務局長代行の取り扱いについて(内規)、運動方針、次期役員選挙の日程で行います

事例検討会

第8回事例検討会は7月21日後藤弁護士を迎えて行いました。

内容は「事故による賠償金支払い」「賠償金を給料から差し引きできるか」「派遣労働者の派遣先企業での労働者性」が事例でした。

第9回は8月18日前田弁護士を迎えて行います。

第29回広島・長崎反核平和マラソン

今年も広島から長崎まで走り継ぎました

実行委員長 西村 文男

広島から長崎までの500キロを3日間で走り継ぐ反核平和マラソンは、今年で29回目を迎えました。

私は今年の平和マラソンで、次の二つの思いを強くしました。

ひとつは、昨年の被爆65周年記念に参加した韓国とフランスの仲間達が、自国で平和マラソンを開催しました。特に韓国では第1回反戦・反核・平和のための国土縦断マラソン大会を開催し私たちに参加の呼びかけをしてきました。これは釜山市庁広場からスタートしてイムジン閣まで、500キロを8月11日~15日の5日間で走るという本格的なものでした。昨年の別れの時に「フランスから韓国そして広島・長崎をつなぎましょう」とフランスの仲間が言っていたことが実現するかもしれない。いよいよ、平和マラソンも国際的になってきたということでした。

もう一つは、世界で唯一の被爆国日本が、今度は自国の原発事故で被曝したという屈辱的な事態の中での平和マラソンでした。こうした事態に、自国の政府や東京電力はまともな対応もせず、やらせメールのようにアンフェアな態度に終始してきました。今こそ我々スポーツ愛好者はフェアプレー精神を発揮して世論を喚起し、まともな政府・東京電力に変えなければならないと思いました。

第29回広島・長崎反核平和マラソンは広島平和公園の“嵐の母子像前”で、原爆が投下された時刻の8月6日午前8時15分に参加者全員で黙祷してスタート、8月8日午後6時30分に長崎平和公園にゴールして所期の目的を立派にやり遂げて大成功に終わりました。

これから1年、わたしたちは地域・職場学園に帰って活動して、また来年も長崎平和公園の“平和祈念像”の前で報告できるよう頑張ります。

